

第 63 回火災科学セミナー

主 催：(公社)日本火災学会

後 援：全国消防長会 横浜市消防局 京都市消防局

2024 年 1 月 1 日に石川県の志賀町で最大震度 7 を記録した能登半島地震の発生によって、県内及び周辺各地に甚大な被害をもたらし、その後も日本各地で地震が頻発するなど、改めて震災への備えについて意識が高まっているところです。

そこで、発生から 100 年を経過した関東大震災の教訓を再認識することで、今後 30 年以内に 70%の確率で発生すると予想されている首都直下地震に備え、震災の教訓を未来へ引き継いで行く必要があります。

また、36 人が被害を受けた京都アニメーション放火火災から 5 年が経過し、火災発生時における避難行動について様々な場面を想定して、命を守るためにどうすべきか見識を深めておくことが重要です。

このような状況を踏まえ、日本火災学会では、横浜市と京都市において下記のとおり「火災科学セミナー」を開催することとなりました。つきましては、会員の皆様はもとより、消防関係者、一般の方々も多数ご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

◆横浜会場：[主題] 関東大震災から学ぶ震災への備え、そして、未来への教訓

日時：2024 年 11 月 19 日（火） 13 時 00 分から 17 時 00 分

場所：横浜市開港記念会館 講堂

（神奈川県横浜市中区本町 1-6）

- ①みなとみらい線「日本大通り駅」1 番出口から徒歩約 1 分
- ②JR 京浜東北線・根岸線「関内駅」南口から徒歩約 10 分
- ③市営地下鉄線「関内駅」1 番出口から徒歩約 10 分

1 関東大震災と横浜消防の対応 ―歴史学の視点から―

横浜都市発展記念館（主任調査研究員）吉田 律人 氏

2 輪島市朝市通りの火災からみる地震火災の延焼状況について

国土技術政策総合研究所 都市研究部（都市防災研究室長） 岩見 達也 氏

3 近年の大規模災害からみるこれからの地震火災対策

東京大学先端科学技術研究センター（教授） 廣井 悠 氏

◆京都会場：[主題] 「避難」について考える～火災から大切な命を守るために～

日時：2024 年 12 月 11 日（水） 13 時 00 分から 17 時 00 分

場所：立命館大学朱雀キャンパス 5 階大講堂

（京都府京都市中京区西ノ京朱雀町 1）

①JR・地下鉄「二条駅」から徒歩約 2 分

②阪急京都線「大宮駅」から徒歩約 10 分

1 京都アニメーション火災の避難行動を読み解く

富山大学 学術研究部 教育学系（教授） 秋月 有紀 氏

2 火災から命を守る避難の指針について

京都市消防局（予防部長） 藤生 卓樹 氏

3 火災危険をイメージして避難を考える ～避難訓練の調査を通じて～

東京理科大学大学院 創域理工学研究科 国際火災科学専攻

（教授）水野 雅之 氏

4 J A L 機衝突事故 18 分の脱出劇 ～「奇跡」ではない成功の要因～

筑波大学・神田外語大学 客員教授 警察大学校講師 Global Manner Springs

代表 江上 いずみ 氏